

科目区分	専門分野《成人看護学》														
授業科目名	成人看護概論														
開講時期	1年次・前期														
単位(時間)	1(30)														
担当講師	《専任教員》看護師・助産師としての実務経験あり														
科目のねらい	人のライフサイクルにおいて、成人期は心身ともに社会的にも自立・自律している時期といえる。本科目では、成人期にある人々が生活者として担うさまざまな役割から成人を理解し、大人としての成人の特徴と成人期の人々が生活者として抱えやすい健康問題について学ぶ。また、大人の学習者を援助する看護のあり方をふまえ、体験学習と照らし合わせながら看護に活用できる実践的な理論や、健康レベルに着目した看護の考え方について学ぶ。それらを通じて成人期にある人々への看護展開を行う基盤をつくる。														
到達目標	1) 成人看護学の概要について理解する。 2) 成人各期の発達課題および身体的特徴、心理・社会的特徴を理解する。 3) 成人期にある人々の健康障害の特徴を生活およびライフスタイルから理解する。 4) 看護に活用できる理論を生活者としての成人の特徴に照らしながら理解し、自己の考えを記述する。 5) 成人の看護に有用な理論の概要と看護への応用について理解し、自己の考えを述べる。														
授業の内容と方法	1回目 授業ガイダンス 「あなたは『大人』?『子ども』?」 2回目 「未来の成人期を生きる私たちから見た成人期の特性 ～成人が担う役割とは～」 3回目 「成人の特徴をもっと知ろう～私と親世代(成人)の生活～」 4回目 「成人各期の特徴の理解その1ー青年期の成長発達と健康問題ー」 5回目 「成人各期の特徴の理解その2ー壮年期・向老期の成長発達と健康問題ー」 6回目 「成人が抱えるストレスと看護」 7回目 「ヘルスプロモーションと大人の学び」 8回目 「おとなの学びを支援するエンパワメント・アプローチ」 9回目 「生活習慣と職業生活に関連した健康障害と保健医療政策」 10回目 「成人と死」 11回目 「危機理論を活用した対象の把握と看護介入」 12回目 「健康レベルに着目した成人の捉え方、健康レベル別の対象の特徴と看護の役割その1(健康危機状況からセルフケア再獲得に向けての看護)」 ・健康危機状況にある成人の5つのセルフケア不足とは 13回目 「健康レベルに着目した成人の捉え方、健康レベル別の対象の特徴と看護の役割その2(健康危機状況からセルフケア再獲得に向けての看護)」 ・セルフケアを再獲得するとは 14回目 「健康レベル別の対象の特徴と看護の役割その3(セルフマネジメントに向けての看護)」 ・セルフマネジメントとは ～セルフマネジメントの主要概念～ 15回目 まとめ・終了試験														
評価方法	終了試験(80%) 授業への出席・参加状況《提出物の提出状況》(20%) 上記合計点の6割以上で合格とする。														
必携文献	1) 安酸史子他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学①—成人看護学概論，メディカ出版，2022。 2) 吉田澄恵他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得，メディカ出版，2022。 3) 安酸史子他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント，メディカ出版，2022。														
参考文献	1) 厚生省の指標 国民衛生の動向，厚生統計協会。(最新刊) 2) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論，学習研究社，2022。 その他、随時紹介します。														
備考															
出席自己 チェック欄 30h	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30 試験 (1)

授業科目の区分	専門分野《成人看護学》	
授業科目	成人看護実践演習（成人の看護展開）	
開講年次・学期	2年次・前期	
単位（時間）	1（30）	
担当講師	①《専任教員》 看護師としての実務経験あり ②③《専任教員》 看護師としての実務経験あり ④《専任教員》 看護師としての実務経験あり	
科目のねらい	<p>成人の看護過程では、成人を“自分の健康をセルフケアしようとしている”という大前提に立ち、急激な健康破綻と回復過程にある人々を援助するために必要な看護を①健康危機状況にある人の看護②セルフケアの再獲得として学ぶ。また、成人が何らかの慢性的な病をもったときに、生活者としてどのように病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけて、自分らしく生きていくための③セルフマネジメントを支援する看護を、生命を脅かす疾患によって様々な問題に直面している患者と家族を支援する④緩和ケアについて学ぶ。</p> <p>授業では、一人の成人期にある事例患者およびその家族がさまざまな状況のなかに存在するとき、看護者としてどのように看護しうるのかについて、それぞれの看護の特徴にあわせて実践的に思考し、看護の展開方法を学ぶ。領域別実習における看護の土台となる本科目において、部位別看護、臓器別看護、系統別看護、疾患別・治療別看護といった医学的視点や既習の知識、基礎看護技術を統合させ、成人のセルフケアに注目して看護するために必要な学習を見出し、主体的に学習する姿勢を身につけていくことをねらいとする。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 急性期を健康危機状況と捉えその特徴および5つのセルフケア不足への看護を考える。 2) 健康危機状況の症状・起こりうる状態の機序を明らかにし、アセスメントの思考を学ぶ。 3) 長期にわたり疾病の管理が必要な人の困難さを知り、記述できる。 4) セルフマネジメントを支援する看護者の在り方について考えを述べられる。 5) 機能障害による生活行動への影響（支障）を記述できる。 6) 生活行動の自立が支援できるよう、チームで看護を考えられる。 7) 全人的苦痛について理解した上で、対象にかかわる看護者の在り方について考えを述べる。 8) 身体症状による苦痛を緩和し、その人らしい日常生活を支えるための看護について考えを述べる 	
授業計画	<p>健康危機状況にある患者の看護：直腸癌の周術期にある対象者の事例をもとに看護展開を行う 「健康危機状況を回避・脱却できるようにセルフケアを支援する とは？」</p>	①
	<p>セルフケアの再獲得 1回目 セルフケア低下のアセスメントと評価 2回目 セルフケア再獲得を支援する方法「できるADL」から「しているADL」へ 3回目 セルフケア再獲得を支援する看護実践と評価</p>	②
	<p>セルフマネジメント 1回目 「私の生活」と「疾患管理が必要な生活」を比較する、パートナーシップと3つのマネジメント 2回目 生活をさく 3回目 エンパワメントアプローチを活用した看護実践 4回目 カンファレンス：セルフマネジメントを支援する看護者の在り方</p>	③
	<p>緩和ケア：肝細胞がんのターミナル期にある対象者の事例をもとに看護展開を行う 「患者・家族の苦しみを予防し、QOLを改善する とは？」</p>	④
必携文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 吉田澄恵他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得 メディカ出版，2022. (①②) 2) 安酸史子他編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント，メディカ出版，2022. (③) 3) 中島恵美子他：ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤周手術期看護，メディカ出版，2022. (①) 4) 恒藤 暁他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア，医学書院，2020. (④) 5) 道又元裕他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学，医学書院，2020. (①) 6) 黒田裕子：看護診断のためのよくわかる中範囲理論，学習研究社，2022. (①②③) 	
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 安酸史子・鈴木純恵・吉田澄恵編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論，メディカ出版，2022. 	
成績評価方法	個人の課題レポート、出席と学習への取り組みを総合的に判断し、①～④それぞれ6割以上を合格とする	

出席自己 チェック欄 30h	① 8	2	4	6	8	
	② 6	2	4	6		
	③ 8	2	4	6	8	
	④ 8	2	4	6	8	